



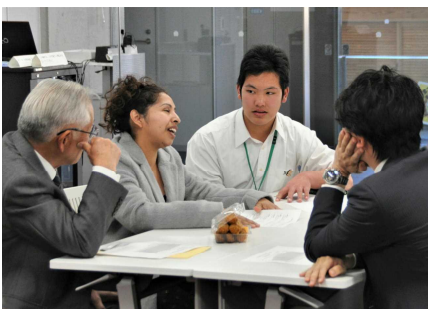
スーパー グローバル ハイスクール

佐高 SGH通信 2017

No. 46 (平成30年2月16日発行)

「佐野市国際交流協会」設立25周年

記念式典、講演会・交流会 《事業協力》



2018年2月4日(日)13時から、佐野市役所1階(市民活動スペース)で、佐野市国際交流協会設立25周年の記念行事が行われ、**SGHクラブの有志17名**が事業に協力しました。

生徒たちは12時に市役所に集合し、会場の準備や駐車場の案内、受付などの仕事を行い、講演会や佐野市在住の外国人との交流会に参加しました。16時30分の終了、後片付けまで、労をいとわず頑張る姿は、とても頼もしく感じられました。同協会からは、感謝のお言葉をいただきました。

記念講演会では、講師に栗又由利子先生をお迎えし、「やさしい日本語」って何?というテーマでお話がありました。私たちは、**国際交流＝英語**というイメージがありますが、実はそうではないそうです。現在、多くの外国人が佐野で生活していますが、そこで本当に必要とされているのは、外国人にもわかる「やさしい日本語」なのです。2020年の東京オリンピック・パラリンピックでも「やさしい日本語を用いた分かりやすい情報発信」が求められているそうです。まさに「逆転の発想」です。会場では、実際に外国人にどのような表現を使ったら分かりやすいか、の実習を行いました。

やさしい日本語って何? やさしい日本語とは 「普通の日本語よりも簡単で、外国人にもわかりやすい日本語」です。	やさしい日本語って何? 例えば・・・ 余震のおそれがあります。 余震<後から来る地震>が来るかもしれません。	やさしい日本語って何? 「減災のため」として始めましたが、現在では・・・ だれにでも わかりやすい ユニバーサル・コミュニケーションとしての「やさしい日本語」	東京都オリンピック・パラリンピック準備局 TOKYO OLYMPICS 2020 TOKYO 「やさしい日本語を用いた分かりやすい情報発信」 まだ細かいところまでは決まってない?
--	--	---	--

(上記のスライドは栗又さん作成のものを許可を得て転載)

その後、**世界各地の料理**を食べながら、**交流会**が行われました。
生徒たちは皆、意欲的に「会話や料理」を楽しんでいました。

佐野市で交流を行っている皆さんと、大変貴重な体験をすることができました。異文化理解のために、「やさしい日本語」を使ってコミュニケーションを取りたいと思います。(高 2-3 田上 真衣)

交流会では、実際に「やさしい日本語」を使って、中国の方々と会話をしました。中国の食べ物などを見せていただき、中国についてもとても興味をもちました。(高 2-1 猿山 綾乃)

国際交流協会のボランティアを通して、必ずしも英語は万能ではないと感じました。英語+1言語をマスターし、同時に母語である日本語を大切にしていきたいと思います。(高 2-3 熊倉 雅紘)

外国の方と話す時、英語か他の外国語を使うと思っていたが、「やさしい日本語」を使うという新しい考え方が自分の中で生まれました。とても面白い体験でした。(高 2-1 石川 健吾)

英語だけでなく「やさしい日本語」を使うこと、日本語をいかに短く、わかりやすく伝えることの大切さを学びました。インドネシア人の手作りハラル料理も楽しめました。(高 2-1 飯塚 菜摘)

25 周年記念事業に参加して、市内で外国人のために働いている方々やベトナム人の方と話す貴重な体験ができました。佐野市がこれほど国際的な都市とは知りませんでした。(高 1-1 安生 温大)

国際交流協会は外国の方々の支えになっており素晴らしいと思いました。今後在日外国人の増加が予想されるので、ここで学んだことを生かして話してみようと思いました。(高 1-3 小堀 響瑞)

「やさしい日本語」の公演にとっても感銘を受けました。アジアなど英語圏以外の外国人に対して英語で話しかけるのではなく、やさしい日本語をもっと広めたいと思いました。(高 1-1 荒井 真優)

今回のボランティアを通して「やさしい日本語」について学んだ。「やさしい」とは、「易しい」と「優しい」であり、誰にでも分かりやすくなることが分かりました。(高 1-1 吉田 紅介)

「やさしい日本語」の講演はとても興味深かったです。外国人の方と話しながら、伝わりやすくする工夫を学びました。(高 1-3 白居 諒馬)

「やさしい日本語」について初めて知りました。年々、在日外国人の方が増えています。お互い住みやすい環境にするためにも彼らに寄り添って話すことが大切だと思いました。(高 1-1 坂井 里衣)

国際交流記念行事で「やさしい日本語」で外国人と楽しく会話をすることを学びました。益々増える在日外国人の方々と積極的に話し、彼らの手助けができたかと思いました。(高 1-1 佐取 愛萌)

今回の交流会参加で「やさしい日本語」を知ることができました。この経験を SGH 研究にぜひ生かしたいです。(高 1-2 須藤 聖奈)

